

栃木県眼科医会理事会だより(平成29年度第4回)

日 時：平成29年11月14日(火) 午後7時

場 所：宇都宮市医師会館

出席：原(裕)会長、旭、吉澤(徹)副会長、城山、石崎、大久保(彰)、大野、蘇、福島、斉藤(哲)、高橋(雄)、
苗加、早津(宏)、大柳、井岡、堤、上田、牧野、青瀬理事、宮下監事 計20名
欠席：細川、井上(裕)、永田(万)理事、鈴木(隆)監事、柏瀬(宗)、川島、妹尾顧問 計7名

《会長挨拶》

みなさま、今日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また先日は公開市民講座にご協力いただきありがとうございます。お蔭様で盛会のうちに終えることが出来ました。本日も来年早々の選挙の件を含めて、盛りだくさんの議題がありますのでよろしくお願いいたします。

《総務》

報告：1. 目の健康講座開催報告(10月22日(日) ホテルニューイタヤ)

一般参加者 108名 台風の影響で参加者が少なかった

司会・ナレーション メーカー担当に依頼

開会挨拶 原会長

講演1「知らないと怖いコンタクトレンズの話」 座長 旭副会長

宇津見義一(宇津見眼科医院院長 日本コンタクトレンズ学会理事)

講演2「点眼薬(目薬)が生まれるまでと正しい点眼」 座長 福島理事

河嶋洋一(京都ひとみケアリサーチ 代表)

講演3「緑内障ってどんな病気～ちゃんと点眼できてますか～」 座長 大久保理事

溝上 志朗(愛媛大学大学院医学系研究科 視機能再生学講座准教授)

閉会挨拶 吉澤副会長

講師スケジュール

※溝上先生と河嶋先生は前泊(東京)

(前日(10月21日)は2017 ジャパンカップサイクルロードレース in 宇都宮が開催され、
混雑が予想されるため)

※当日は天候不良で飛行機が飛ばなかったため、溝上先生は東京に宿泊した

※宇津見先生は、ご自身で手配されるとのこと(領収証について連絡済)

下野新聞掲載 10月6日(金)大野研一理事「目の病気、年齢別に注意」

読売新聞掲載 10月9日(月)原裕会長「目の愛護デー」県眼科医会長に聞く

広告原稿確認(肩書、名前、内容)

広告

新聞広告 2回 下野新聞 半3段 10月13日(金) 10月21日(土)

読売新聞 半3段 10月14日(土) 10月20日(金)

とちぎテレビ 10月17日(火) 6:50~6:55頃と 18:30~18:35頃

10月18日(水) 6:50~6:55頃と 18:30~18:35頃

10月19日(木) 6:50~6:55頃と 18:30~18:35頃

10月20日(金) 6:50~6:55頃と 18:30~18:35頃

栃木放送 10月16日(月) ~ 21日(土) (1日2回)

7:45頃(ココロ晴れルヤ内)・11:40頃(インサント TODAY内)

東武駅のポスター (3週間 B1)

10月2日(月)~10月22日(日) 東武宇都宮駅 新鹿沼駅 下今市駅

10月3日(火)~10月23日(月) 栃木駅

東武電車中釣り (2週間 B3)

10月5日(木)~10月18日(水)

HPに記載

会場準備について

労務提供依頼済(7社11名 集合は11:00) 参加理事も11時集合

配置:案内・受付・マイク持ち・ナレーション・PC/プロジェクター 現場で分担決定

終了後 御礼の手紙送付

2. 平成29年度都道府県眼科医会連絡会議出席報告(11月12日(日)東京コンファレンスセンター

品川) 原会長

①眼鏡矯正技能士の件

第1期 S60 3月橋本政権 眼鏡士法案の試案 12月 同第2次試案 立消えになる

第2期 H13 認定眼鏡士制度 H22民主党政権に要望書 業務独占を目的とする

医療を医師以外が行うことは認められないとして眼科医会は反対

第3期 H26 日本眼鏡技術者協会:公的資格として眼鏡技能士(仮称)職業能力開発局の中の技能認定制度の範囲で規定を目指す。日眼医副会長が対応、「眼鏡士」名称独占を目的、

屈折医療に関与しない。米国のオプトメトリストの利権がどんどん膨らんだ事実を見据えて考えねばならない。

日眼医の方針:今後日眼と共同歩調をとる。

日本眼鏡技術者協会に以下を求める(案)

1)眼鏡技能士は屈折医療に関与しない

2)眼鏡技能士の業務内容は正確な眼鏡を作成に限定する

この案に対する原会長の意見

→この文章は将来問題になる、眼科医の処方箋に基くことを明記すべき

→他県の会長からも医療法に準ずるという一文を入れるよう要望

アリのひと穴とならないよう、改めて十分に協議することになった

注) 眼鏡技術者協会：公益社団法人

②新専門医制度の件

現在の専門医は移行して取り組み、講習内容が変わる

2019年度から、50単位/年 各県で開催が可能かアンケートがあった

医療安全 医療倫理 感染症対策 等

日眼医の加入要件が外れる、日眼加入は義務。

ただし、日眼医会員は支部長が証明可能、未加入の医師は支部長の証明は得られない

③ビジョンバンの運用について

3000万円/年かかっている、補助金が2000万円、日眼医からは1000万円

ロキシタンが5万ユーロ助成、冠スポンサーとして 継続運用

3. 日眼医より連絡の「全国眼科男女共同参画協議会報告」と次回案内について

全国眼科男女共同参画協議会 細川理事出席

報告：第71回臨眼ランチョンセミナー報告 石丸真弓先生（「日本の眼科」掲載予定分）

予定：平成30年2月11日（日）東京コンファレンスセンター・品川 細川理事

4. 日本緑内障学会から連絡の「ライトアップ in グリーン 運動」について

2018年3月11～17日 過去に原眼科病院が行った

協議：1. 会長選挙について

HPに掲載

選挙管理委員会 委員長 木村 純 先生

届出 H30 1月15日～1月30日

有権者 1月1日に当会会員であること

投票 2月15日から20日間 開票2月21日

2. 「会議出張費」について

平成30年4月から（新体制となることを契機に）総会で賛同を得たら

会則施行細則別表はそのままに、

「但し主催団体より出張費が支給されている場合、原則として支給しない」とする

3. 入会希望者について（転入、開業を含む）

会員種別変更 B→A 和泉田真作 新規開設 理事会で新規加入の挨拶

いぬづか眼科

〒323-0811 小山市犬塚 8-10-20

電話 0285-38-7622 Fax 0285-38-7627

B→A 松島美奈子（佐野市 松島眼科医院）

《経 理》

報告：1. 目の健康講座 収支報告

収入	アイバンク	10,000円
支出	講師御礼（3名）	300,000円
	交通費	176,160円
	宿泊費	160,500円
	会場費	394,458円
	印刷費	246,240円
	広告宣伝費	1,352,840円
	振込手数料	3,348円
	計	2,633,546円

まだ新聞社等の請求が来ていません

2. 栃木県医師会より送付の平成29年度生涯教育分科会補助金の交付について

8万円の入金があった。

協議：1. 栃木県視能訓練士勉強会への助成金について

10万円/年 医療福祉大 内山先生に打診

《学 術》

報告：1. 第7回栃木ぶどう膜炎カンファレンス開催報告（本会・栃木ぶどう膜炎カンファレンス・田辺

三菱製薬・参天製薬共催、9月22日（金）宇都宮グランドホテル） 58名参加

ミニレクチャー「ぶどう膜炎続発緑内障の診断」

鈴木 重成 先生（獨協医科大学眼科学教室 講師）

特別後援「非感染性ぶどう膜炎の薬剤選択」

蕪城 俊克 先生（東京大学附属病院眼科 准教授）

2. 第11回栃木県内科眼科関連疾患懇話会開催報告（栃木県内科眼科関連疾患懇話会・興和創薬共催、栃木県内科学会・本会後援、10月19日(木)、宇都宮グランドホテル）

71名出席

テーマ「神経疾患と神経眼科」

「症例より考える神経眼科疾患の診断法と治療」

石川 均 先生（北里大学 医療衛生学部 視機能療法学 教授）

「眼科に行きたがる片頭痛患者さんたち」

平田幸一 先生（獨協医科大学 神経内科 教授）

- 協議：1. 第6回栃眼医獨協眼科病診連携の会開催報告（獨協医大眼科・当会・日本アルコン共催、11月17日(金)宇都宮グランドホテル）

「抗 VEGF 時代における加齢黄斑変性治療 –少ない治療回数への取り組み–」

石川 浩平 先生（石川眼科医院 院長）

「視覚障害対策で健康寿命延伸を～介護予防における眼科医療の役割～」

平塚 義宗 先生（順天堂大学眼科 先任准教授）

2. 第 74 回栃木県眼科医会集談会（11 月 24 日(金) 宇都宮市医師会館）

一般演題 10題

特別講演「獨協医大における斜視弱視診療、小児眼科診療の現状」

宮下博行 先生（獨協医大眼科）

3. 第57回栃木県眼科医会研究会の件（1月19日(金)大塚製薬と共催、宇都宮グランドホテル）

特別講演1「甲状腺眼症の診断と治療」井上立州 先生（オリンピック眼科病院 副院長）

特別講演2「緑内障薬物療法—交感神経作動薬点眼剤を見直してみると—」

新家 眞 先生（公立高校共済組合 関東中央病院 病院長）

4. 第25回栃木眼科セミナーの件（2018年2月23日(金)自治医大・興和創薬共催・本会後援、宇都宮グランドホテル）

「臨床所見から考える網膜硝子体疾患の病態と治療」

池田恒彦先生（大阪医科大学眼科 教授）

5. 第27回下野眼科談話会の件（獨協医大眼科主催、本会後援、宇都宮グランドホテル）3月

6. 第75回栃木県眼科集談会（平成30年4月15日(日) 自治医科大学）

7. 栃木県

視能訓練士勉強会と眼科集談会の共同開催案について

現在2回/年開催されている そのうち1回を集談会と共催とするか？

内山先生と協議する。

《医療安全対策及び福祉》

報告：1. 日眼医より依頼の平成28年度医事紛争事例調査の件

本県からは無し

2. 第87回栃眼医親睦ゴルフコンペについて（10月8日（日）宮の森カントリー倶楽部）

優勝：関本慎一郎先生 準優勝：加藤健先生 参加者15名

協議：1. 栃眼医忘年会開催の件（12月7日（木）ホテルニューイタヤ）

案内は事務局から送付済

《保 険》

報告：1. 平成29年度 都道府県眼科医会健保担当理事連絡会の出席報告（バーチャル会議 10月20日（金）～11月20日（月） 井岡理事出席

2. 平成29年度都道府県眼科医会介護・在宅医療担当理事連絡会出席報告（11月20日（月）～12月22日（金） バーチャル） 井岡理事出席 議題なし

協議：1. 宇都宮市医師会からの特定健診（国保）：詳細健診受け入れについて

（宇都宮市医師会のアンケート）

1件1,836円では厳しい

宇都宮市医師会としても、困難なことは理解している

《広 報》

協議：1. 会報誌51号の随筆担当の件

2. 平成30年関東甲信越地区眼科医会連合会報の件 2月締切

会長のことば 会長選挙後、新会長に依頼

目の健康講座 開催報告 堤先生

各県だより

《学校保健》

報告：1. 第41回全国学校医連絡協議会出席報告（9月24日（日）東京グランドホテル）

苗加理事出席

2. 学校保健に関する全国調査の件

締切 11月30日（木） 苗加理事から報告

3. 第1回学校保健部会理事会出席報告（9月28日（木） 護国会館）

平成30年2月22日の学校医講習会 健康の森（対象：養護教諭・他科の先生）

新井田先生（国際医療大学眼科教授）に依頼

《公衆衛生》

報告：1. 目の健康講座開催報告

総務に記載

2. 日眼医より依頼の「目の健康講座」入場者数

98名

3. 日眼医より連絡の「スマートサイト講習会日程」について

第1回 2018年6月30日（土）17時～19時半

第2回 2018年9月9日（日）10時～12時半

ロービジョンケアの連携システム

次回は鈴木重成先生にも問合せ

協議：1. 平成30年度「目の愛護デー」記念行事

例年通り 宇都宮市健診センター 会場の手配

《医療対策》

報告：1. 平成29年度栃木県CL販売管理者継続研修会進捗状況（11月26日（日）とちぎ健康の森）

89名申込み

2. 日眼医と栃木県より送付の「コンタクトレンズの適正使用に関する情報提供等の徹底について」の周知について

協議： 1. 平成 30 年度栃木県 CL 販売管理者継続研修会の講師選任の件

平成30年12月2日(日)

講師は打診中

《勤務医》

協議： 1. 第18回全国勤務医連絡協議会の出席者と提出議題（11月19日(日)品川シーズンテラス）

上田理事出席

《日眼医連盟》

報告： 1. 平成29年度日本眼科医連盟協議委員会出席報告（11月12日(日)東京プリンスホテル）

協議： 1. 日眼医連盟交付金について

交付金は辞退

《その他》 次回理事会は、1月17日(水)に開催する。

(福島一哉 記)